

## 前期日程

令和4年度入学試験問題（前期日程）

# 総合問題

芸術地域デザイン学部  
芸術地域デザイン学科  
地域デザインコース

### — 解答上の注意事項 —

- 1 「解答始め」の合図があるまで問題を見てはならない。
- 2 受験票、筆記用具〔鉛筆（シャープペンシルを含む）、消しゴム、鉛筆削り〕、眼鏡及び時計以外の物は、机上に出してはならない。
- 3 問題冊子のほかに解答紙2枚と下書き用紙2枚（白紙1枚と原稿用紙1枚）がある。
- 4 解答は横書きとする。
- 5 解答紙を提出すること。
- 6 問題冊子と下書き用紙は持ち帰ること。

第1問 以下の英文を読み、設問に答えなさい。

For as long as carts have rolled into cities from the countryside laden with crops and fuel and stone, there have been pleasure-seekers who have headed in the other direction, into the country, to hunt, play, stroll, bathe and escape the pressures of urban life. ① The idea of the rural as a space of production has always had a mirror in the similarly powerful idea of the rural as a place of consumption, particularly as a location for leisure and recreation. In some cases, rural sites have simply hosted activities that are not in themselves intrinsically rural – various sports, for example, or, in recent times, theme parks, car boot sales and shopping malls. Commonly, however, the use of rural space for recreation and leisure is tied to an idea of in some way consuming rurality, or, at least, consuming attributes associated with an imagined rural idyll.

The consumption of the rural can take many forms. Sightseers visually consume the rural landscape; hill-walkers consume the atmosphere of fresh air and tranquillity; nature-watchers visually consume the wildlife; mountain bikers consume the terrain against which they are pitted; visitors to fayres and festivals consume rural culture; shoppers buy rural crafts, and diners literally consume rural food and drink; and so on. In each of these cases, attributes of rurality that are the object of consumption – scenery, nature, tranquillity, heritage – are translated into commodities that can be bought and sold.

\* intrinsically : 本質的に idyll : 田園風景・生活 tranquillity : 静穏・静謐  
terrain : 地形 rurality : 農村性

(出典 : Woods, M. 2011. *Rural*. London: Routledge. より一部修正し抜粋)

From: *Rural* by Michael Woods, © 2011 Michael Woods, published by Routledge.  
Reproduced by permission of Taylor & Francis Group through PLSclear.

設問1 農村を訪問する人々は何を目的としているのか説明しなさい。

設問2 下線部①を日本語に訳しなさい。

設問3 課題文を踏まえて、農村の消費にはどのような特徴があるのか、150字以内で説明しなさい。

## 第2問

現代では、美術館の展覧会でもギャラリーの展示でもない、芸術祭という種類の展覧会が世界各地で開催されている。世界中から数十名のアーティストが集結する芸術祭は「祭り」という名前にふさわしく、芸術祭が開催される期間の会場周辺は賑やかに盛り上がる。

以下に掲載する2つの資料は、芸術祭の実行委員長やアーティストック・ディレクターが芸術祭に対する考えを述べた文章の一部である。これをよく読み、3つの問いに答えなさい。

### 資料1

震災から10年の月日が経った被災地でも新型コロナウイルスの影響による移動自粛モードが続いている。農業などをやるということでもない限り、地に足のついた生き方というのはなかなか見出しにくい現代の経済社会で、多くの人が足止めを食ったままだ。その理由が感染への不安や恐怖だ。

見えないものの流動性の怖さ——自然界の産物であるウイルスの流動性への懸念から、人間の移動を伴う流動性が抑えられている。

一方、見えないものの流動性は別のところでも高まり、デジタルによるテレワークやコミュニケーションによって、新たな思索、感情、アイデアなどが、今まで当たり前でコントロールしていると思っていた日常をすり抜けて、移り変わったり、新たな出会いを作ったりして、化学反応を起こしている。震災後の被災地がそれに似ていた。

リボーンアート・フェスティバルを作り出していく過程で、大きなネガティブな出来事があったからこそ生まれた新たな出会いと化学反応。それは、自然の流動性の様(さま)を傍らで感じながら、生命が胎動するような実感「いのちのてぎわり」を生み出していった。そしてそれも永遠ではなく、流動性と共にある。美術批評家の榎木野衣氏によって「(A)悪い場所」と名付けられた日本、東北。安定しない地盤や多くの水害に昔から悩みや不安を抱えながら人々が生きてきた「(A)悪い場所」。不安定な流動性を抱えた場所。しかし、だからではないか。その都度振り出しに戻ったり、弱者の視点に立ったりするなかで、何に向かって何を感じて生きていくのか——人類が文明というものを生み出す大元に立ち返るような心の動きが流動性のなかに潜んでいるのではないか。

(出典：Reborn Art Festival 実行委員会 Reborn Art Festival 2021-22 ウェブサイト <https://www.reborn-art-fes.jp/> (2021.08.30 アクセス) より一部修正し抜粋)

## 資料2

トリエンナーレは、人の学びを刺激するいくつもの環境を作り出します。それは、休眠中のものであれ緊急のものであれ、世界のそれぞれに異なる場所から寄せられ、常に転位し続ける関心事へと人々の目を向ける機会です。それらの関心事は、並べ替えられ、境界線を引き直され、解決がつかぬまま互いに共存しています。

一方、この数ヶ月の間に、生命をもたない存在である小さなウイルスが出現し、わたしたちが思い込んでいたことをひっくり返して人類全体に課題を突き付けました。人類史上初めて、世界各地にいる数十億人が——お互いの存在を意識しながら——生き方の作り直しを余儀なくされたのです。こうして、世界を捉え直すことの必要性が誰の目にも明らかになりました。

わたしたちは今、なじみのない、ウイルス性の、そして先が読めないところがある時代の残光 (afterglow) のなかにいます。誰もがよく知る手引書はまだありません。わたしたちはひとりで、そして仲間と一緒に、(B)ぐらぐら揺れる目盛りを使いこなして航海を先導するしかありませんが、なじみのルールがどんどん変更されるので、目盛りの揺れはひどくなるばかりです。わたしたちは今暴風雨のまっただなかにおいて、皆でその風圧にさらされているのです。

※トリエンナーレ…3年に一度行われる芸術祭のこと

横浜トリエンナーレ組織委員会 ヨコハマトリエンナーレ 2020  
「AFTERGLOW - 光の破片をつかまえる」公式カタログより一部改変し抜粋

A luminous interval, a glowing anticipation, a lambent flow, a charged current of energy between thickets of presence and becoming by Raqs Media Collective, Yokohama Triennale 2020, Jul 2020.

Reproduced with permission of Raqs Media Collective.

### 設問1

下線部(A)「悪い場所」とあるが、具体的にはどういうことか。その説明として最も適当なものを、次の1~4のうちから1つ選びなさい。

1. ネガティブな出来事が起き続け、主体的に選択することが難しい場所。
2. 別の流動性が高まることで新たなアイデアや感情が生まれ、化学反応を起こす場所。
3. 同じ問題が反復的に発生し続ける、不安定な場所。
4. 行動自粛が続くことで、自由に身動きがとれない場所。

### 設問2

近年の芸術祭では、社会と芸術の関係性を問いかけるものが増えている。2つの資料中で述べられているウイルスがもたらした課題について、一部引用しながら50字以内で記述しなさい。

### 設問3

下線部(B)「ぐらぐら揺れる目盛りを使いこなして航海を先導するしかありません」とはどういうことなのか。2つの資料をもとに書かれた以下の回答例の(ア)(イ)に入る適切な文章をそれぞれ150字以内で記述しなさい。

#### <回答例>

芸術祭はどのように作られているのか。2つの資料から分かったのは、芸術祭は社会で起きている現在進行形の問題に大きく影響を受けながら、その問題に対して私たちが何を感じているのかを手がかりとして作られているということだった。

具体的には、

(ア)

このことは資料中で「流動性」と言われていた。「流動性」にはネガティブな面もあるがそれだけではなく、

(イ)

だから私たちは、慣れ親しんだ価値観から飛び出して、ぐらぐら揺れる目盛りを使いこなして航海を先導するしかない。芸術祭で作品を鑑賞することは、不安定な日々の中で揺れ動く私たちの感覚を安易な結論に導かず、複雑なまま先に進めてくれるものなのだと思う。

